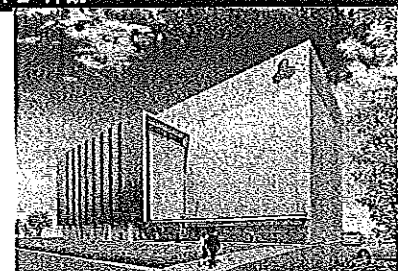


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	微生物化学研究所	階数	地上5F
建設地	京都府宇治市横島町十一番一	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2011年4月8日
敷地面積	14,296 m ²	作成者	日浦茂雄
建築面積	1,855 m ²	確認日	2011年4月8日
延床面積	6,007 m ²	確認者	常峰一城



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

② 建築物の取組み

③ 上記+②以外の

④ 上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q: 環境品質 Q1のスコア= 3.3

項目	スコア
音環境	3.5
温熱環境	3.0
光・視環境	2.8
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

項目	スコア
機能性	3.5
耐用性	3.1
対応性	3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.4

項目	スコア
生物環境	4.0
まちなみ	3.0
地域性	3.5

LR: 地域環境 LR1のスコア= 3.3

項目	スコア
建築物	2.2
自然エネ	3.0
設備システ	4.5
効率的	3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.9

項目	スコア
水資源	3.5
非再生材の	3.9
汚染物質	4.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

項目	スコア
地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	施設としては従業員が快適・安全に研究ができるように配慮し、敷地として周辺環境に配慮した計画を行う。	その他	
Q: 環境品質	研究施設として、従業員の快適な執務環境を確保する。	Q2: サービス性能	建物の維持管理のしやすい計画を行う。
Q3: 室外環境(敷地内)		Q3: 室外環境(敷地内)	従業員の安らぎの確保、及び周辺地域に対しても良い環境を確保するような計画を行う。
LR1: 地域環境	省エネルギーに配慮した計画を行う。	LR2: 資源・マテリアル	再生資材などを用いた計画を行う。
		LR3: 敷地外環境	地域の環境の改善に役立つ計画を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量の事
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

